



地域の思い、ひとつに—— 調川地域まちづくり運営協議会「調創会」設立

ちょうそうかい

小学校区単位で住民が集まり地域の未来を考え、身近な課題を解決していく「協働によるまちづくり」。今回、調川地域が市内初のまちづくり運営協議会を設立されました。

今回は、設立までの背景や目指す地域の将来像などを特集します。

問合せ先

政策企画課市民協働推進室
☎内線 315

小学校区単位の協働によるまちづくりを推進

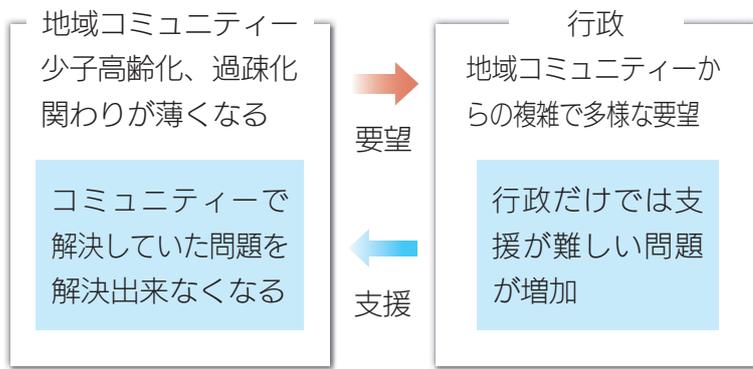
令和2年3月、市は、市民と行政が自分たちのまちの将来や課題等について、ともに考え、学び、行動するための指針となる「第二次松浦市総合計画」を地域起点の公共計画として策定しました。この計画では、「育つ・つながる・根をおろす」を基本理念とし、将来像の一つとして「皆でチャレンジするまち」を実現するため、小学校区単位の協働によるまちづくりを推進しています。

また、令和3年12月には、「松浦市協働によるまちづくりの指針」を策定し、市内各地域の課題解決に向けて、協働の主体となる「まちづくり運営協議会」の設立に取り組んでいます。

「協働」の背景

これまでは、身近な問題を家族や隣近所、あるいは自治会などの多様なコミュニティが関わることによって解決してきました。しかし、少子高齢化、過疎化など、地域社会を取り巻く環境は変化しており、地域コミュニティの希薄化も進んでいます。一方で、多様化・複雑化したニーズに対して、

行政だけでは解決できない課題も出てきています。地域を取り巻く環境の変化を踏まえて、10年後、20年後の地域の姿を想像して、住み続けたいと思えるまちをつくるのが大切です。そのため、市民と行政がお互いに補完・協力しながら進めた方がよいものは協働によって活動するという、新しいまちづくりの形をつくっていく必要があります。



新しいまちづくりの形



課題もアイデアもたくさん！

地域の課題

- ・店、食堂が少ない
- ・交通が不便
- ・大人と子どもの交流がない
- ・外国人と壁があるなど

目指したい方向性

- ・皆で助け合って暮らしやすいまちにする など

解決のための案

- ・空き家の活用(カフェなど)
- ・外国人と幅広い年代との交流の場づくり(運動会)など

誰が舵をとる？

- ・区長会
- ・P T A、小・中学校
- ・消防団
- ・青少年健全育成会
- ・商会議所支部などの地域団体

地域住民



行政

皆で進めて行こう！（協働）

まちづくり運営協議会

地域住民（団体含む）

- 健康福祉 部会
- 安全安心 部会
- 生活環境 部会

各団体の活動

- 区長会 消防団 P T A
- 青少年健全育成会
- 小・中学校
- 商会議所支部など



出来ることからつながり協働



協働

行政（行政サービス）

調川地域未来会議より

調川地域未来会議より
 4月26日には第1回役員会が開催され、事務局の設置や今後の活動などが話し合われました。
 今後、調川地域では、「未来を見据えた2000人の魅力あるまちづくり」を目標とし、健康福祉部会、安全安心部会、生活環境部会を中心に活動される予定です。

未来を見据えたまちづくり

4月2日、市内初となる調川地域まちづくり運営協議会「調創会」が設立されました。設立総会では、提案された議案が全て承認され、初代会長に柴田則史さん（七区ノ二）が選出されました。

モデル地域「調川」での取り組み

市では、令和2年度から、調川地域を市のまちづくり運営協議会設立のモデル地域に選定し、区長会、小・中学校P T A、民生委員・児童委員の方々に説明を行いました。

皆でチャレンジするまちに

既に市内各地域では、市民協働によるさまざまな取り組みが行われていますが、今後は、その取り組みを地域全体で支える仕組みに発展させていく必要があります。

市では、今後、モデル地域の取り組みを市内全域に広げるため、小学校区単位での「まちづくり運営協議会」の設立を目指して、皆でチャレンジする地域を支援していきます。

【対象地域】

- 御厨○星鹿○青島○志佐○上志佐
- 調川○今福○福島○鷹島



「ゆっくり対話し 創りあげていく」

調川地域まちづくり運営協議会「調創会」会長 柴田 則史さん

令和2年度にモデル地域に選定されてから、未来会議や準備会を数多く重ね、今回の設立となりました。調川地域には活動的な地域団体が数多くあります。大きな目標を共有し、歩を進めるためには、対話を重ねることが大事だと思います。

会員団体、地域住民が目標を共有し、対話によって補完・協力できる部分を見つけながら、活力あふれる会を創っていきます。